

飛鳥

古きもの
・
明日のもの

2020年
春から
夏へ
No.10



桃色・黄色の春が来た（入谷）

作者未詳（巻十一・一九八九）

※
卯の花が咲くでもなく、
咲かぬでもないように、
恋心を持っているのか、いないのか・・・
そんなあの人に私はこれからも
恋し続けるのでしょうか。
片思いのままに・・・

卯の花の 咲くとはなしに ある人に
恋ひや渡らむ 片思いにして



卯の花咲く飛鳥川（稲渚）

写真／加藤秀行

唱歌「夏は来ぬ」で「月卯の花の匂う垣根に月」にも歌われる卯の花は鮮やかな緑葉に映える白い小さな五弁花で、初夏の到来を告げる花です。万葉集では二十四首詠まれています。
ふつくらとした薔は米粒に似ていて、田植えを控えたこの時期にたわなに咲く花の風景は、秋の豊穡を連想させる縁起の良い花として万葉人に多く愛されたのかも知れません。

※卯の花・・・卯月（旧暦四月）に咲く花の意といわれ、別名は「空木」花ことばは「秘密」。



（明日香村教育委員会 西光慎治）

やまを越えたい
明日の明日へ



今から約一三〇〇年前、飛鳥の地にはじめて八角形をした古墳が出現しました。古墳の名前は「小市岡上陵（おちのおかのへのみさぎき）」。この陵は斉明天皇と娘の間人皇女を埋葬するために造られました。これまで倭国では前方後円墳が古墳時代を代表する墳形として豪族墓に採用されてきました。しかし、飛鳥時代に入ると政（まつりごと）はこれまでの豪族に変わって天皇を中心とした新しい体制へと移行していきます。それに伴って天皇の「陵（大王墓）」も新しく八角墳が創出されるようになります。八角には「四方八方あまねく国土を統治する」といった意味があります。八角墳は舒明天皇の押坂陵に採用されて以降、文武天皇の檜隈安古岡上陵までの歴代天皇の「陵」は八角墳となります。村内には小市岡上陵以外にも文武天皇・持統天皇の檜隈大内陵をはじめ文武天皇・持統天皇の檜隈大内陵は二上山産の凝灰岩切石を墳丘に装飾した同じ形状をしています。

現在、明日香村では牽牛子塚古墳の復元整備工事を進めています。飛鳥時代を象徴する八角墳は「令和」の新しい幕開けとともに一三〇〇年の時空を経て、飛鳥の地に甦ります。



※2月1日現在の情報です。イベントに参加される際は必ず事前にご確認ください。
詳しい飛鳥のイベント情報は「はるらんまんあすか2020」をご覧ください。

9月	5月	4月	3月
中旬頃	4～5日	8日	下旬、4月上旬
楽	楽	楽	楽
彼岸花祭り、飛鳥光の回廊 0744(54)3240	里山あそび広場2020春 (場所：国営飛鳥歴史公園 高松塚周辺地区) 0744(54)2441	いちご狩り(事前申込必要) 0744(54)1115	岡寺 石楠花まつり 0744(54)2007
		飛鳥寺 花会式 0744(54)2126	盟神探湯神事「甘樫坐神社」 0744(54)5600
			バーチャル飛鳥京体験 0744(54)2441
			石舞台古墳ライトアップ 0744(54)4577

2020年(3月～9月)
イベントスケジュール

発行・お問合せ 公益財団法人 古都飛鳥保存財団 〒634-0138 奈良県高市郡明日香村大字越13-1
TEL：0744-54-3338 FAX：0744-54-3638 E-mail：info@asukabito.or.jp HP：http://www.asukabito.or.jp

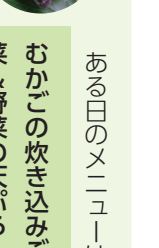
日本人の心のふるさと ～その保存と未来のために～

農

「明日香
バイオマルシェ」



奥明日香の水源の森を
守り、昭和初期の
風景を甦らせる



ある日のメニューは
むかごの炊き込みご飯・飛鳥鍋・山
菜&野菜の天ぷら・柿なます・八頭
の生味噌噌和え・漬物・紫芋羊羹等

オーガニックの食を通して
人と人が出会う場所

有機野菜や無農薬の米、平飼いたまごに天然酵母パン等、毎週金曜日に約12店舗がテントを張り対面販売をする「明日香バイオマルシェ」が大人気だ。「野菜の味が濃くておいしい」「日持ちがする」「どんな方法で作っているの?」と、生産者と直接会話が出来る楽しさと、お客さん同士でもメニューや情報を交換しあったりと、社交場としての賑わいをみせている。

「一過性のイベントではなく毎日使える食材を売ることもっと日常的にオーガニックに親しんでほしいかったんです」と話す代表の樽井一樹さん。始めてみて驚いたのがオーガニック志向の人がこんなに沢山いたこと。今年で7年目を迎えるこのマルシェ、生産者仲間が影響しあい、絆が強くなり、今や絶大な信頼と評価をうけている。

又、「マルシェをきっかけに村で農業をやりたい人が出てくれば」と願う。昔の八百屋さんが姿を消し、安価で効率ばかりが求められる現在、「食べ物に命であり、活動の源」であることを再認識させてくれる、ここは正にそんな場所だ。



「安心で安全な食材をもっと身近に」「生産者が自立できるための場所を」2つの想いを軸に2013年から始まりました。



「のらのわ耕舎」の平飼いたまご
レモンイエロー色の黄身は米や野草を飼料とした安心のあかし



彩り豊かな野菜たち



ふんだんに野菜を使ったカレーやフレンチ、パニネシアン etc。飲食ブースも楽しみのひとつ。



左：代表の「たるたる農園」樽井一樹さん
右：「ミニマルライフ」瀬川 健さん

◆住所：明日香村飛鳥225-2
農産物等販売所「あすか夢の楽市」駐車場内
◆時間：毎週金曜日9：00～12：00
◆駐車場：有り
◆facebook「明日香バイオマルシェ」で検索

思

私と飛鳥



第3期飛鳥応援大使の風人（ふうと）と申します。もちろん、本名は別にあるのですが、近年では病院以外で本名を呼ばれることがなく、すっかりこの名前が馴染んでしまいました。

私は、飛鳥時代・飛鳥地域にこだわった両槻（ふたつき）会という非会員のサークルを主宰しています。会では、年に4～6回、講演会やウォーキングなどのイベントを企画し、実施しています。今年は72回からスタートし、4～5回の

イベントを開催することを目標にしています。

2007年2月にスタートした両槻会は、13年目を迎えています。飛鳥ばかりを取り上げて飽きませんか?と聞かれることがあります。飽きるなどと感じたことは全くありません。そのお返事には、「飛鳥はいつ訪れても新鮮で、いつも好奇心を掻き立ててくれます」と、答えています。穏やかな農村風景の下に、激動の歴史が埋もれています。それは、明治維新に匹敵するような歴史の大転換点でした。そして、いくつものドラマが生まれたのです。飽きるはずがありません!発掘調査現地説明会などでは、その埋もれた古代の景色が目の前に広がります。

す。天智天皇や蘇我入鹿や聖徳太子が歩いた空間や地面が、束の間、姿を見せるのです。ワクワク、土器土器（笑）しませんか!? わあ〜! マニアックだ! その通りかも知れません。飛鳥は、少し勉強してからお越しください。そうすると、地面より上の景色ばかりではなく、もっと素晴らしい場所であることに気づいていただけるように思います。私たち両槻会は、そのお手伝いをさせていただきます。私たちが一度、ご参加ください。飛鳥で、皆さんをお待ちしています。

第三期飛鳥応援大使 風人

食

...Pani

~目にもおいしいスムージーとカラダ思いのこだわりご飯~



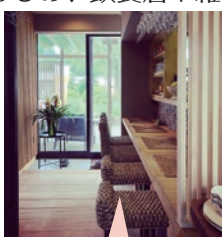
明日香村のチャレンジショップ「Asucome」から卒業した、「...pani」のオーナー細川あやのさんは移住コーディネーター・フードツーリズムマイスター・国際栄養教育士の資格を持つパワーが漲る女性。

2019年春、飛鳥駅前でテイクアウトスタイルのお店としてオープンした。『気軽に体に良いものを』をキャッチフレーズに旬の果物や地元野菜を使ったスムージーを中心に、クラフトビールなどのアルコールメニューも充実させた。又、村内産のお米や生パスタを使った「pani ご飯」も「滋味深く」カラダにも優しい。

今年の4月からは高取町に移住相談をはじめ、飲食店や雑貨等の販売、貸スペースなどを併設した多目的施設「サローネ移-jyu TAKATORI BASE」をオープン。

2つの店を切り盛りしながら「魅力たっぷりの明日香村と高取町をつなげていくのが私の夢です」と話す。

BGMのゲームの音楽が心地良い癒しの空間で幸せな時間をたっぷりと。



店名は
パニ島の花フラン
ジパニ（ブルメニア）
から命名



古代米のライスバーガー
（単品）¥650
ドリンクセット¥850~



「あすカルビーミルクスムージー」
季節によって彩とりどりのスムージーが登場します ¥750

メニュー
・発芽玄米のチキン菜膳カレー ・こんにゃくそぼろ丼
・筍と春野菜のパスタ etc ※季節のスムージー ¥500~

◆電話：080-8523-6323 ◆住所：明日香村越11-4（道の駅飛鳥周辺）
◆営業日時：
●テイクアウトスタイル
月・水・日（11時～18時）※日のみモーニングあり（9時～11時）
●貸切 ※予約のみ・日時、メニュー内容等は要相談

Restaurant introduction

遊

イベント報告

第9回風揚げ大会 実施

去る1月19日（日）「第9回風揚げ大会」を実施したところ、晴天に恵まれ、5歳から12歳の児童と保護者ら約50人に参加いただきました。

参加者は千支「子」をテーマに六角たこを制作。まず、それぞれ思い思いのネズミをデザイン。その後、竹ひごを和紙に貼り付けたこ糸を結び、バランスをとるなど保護者や飛鳥応援大使のメンバーらにお手伝いいただきながら約2時間かけて、風を完成させました。午後からは、国営飛鳥歴史公園石舞台地区芝生広場に移動し、風揚げをしました。どの風も空高く揚がり、子どもも大人も夢中になって走りまわっていました。表彰式では明日香村の特産品や応援大使提供のピンバッジを各賞ごとにプレゼント。井上天極堂さんの葛湯の振舞いもあり、心も体もホッと温まるイベントとなりました。



編集後記

今回出会った3名の方は「景観と人」「農と人」「食と地域と人」をつむぎ合わせたい...そんな思いが伝わる取材でした。それぞれに、自分を生かせる場所が活動されていて、仕事が好きで、それが才能と呼ばれるものだと思えました。そして、昔ながらの日本の知恵が実は一番新しいのかもしれないと気付かされました。青空の下、花を愛でながら行くあの散歩。夏風に吹かれ、木陰のベンチでアイスをペロリ。ゆっくりまったりするのが明日香でのおススメです。明日香に来て「すっごく心地ええわあ〜」を是非味わってみてくださいね。



新子 信子



私たちは
古都飛鳥保存財団の活動を
応援しています

